

令和3年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年10月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005
 四半期報告書提出予定日 令和2年10月14日 配当支払開始予定日 令和2年11月16日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年2月期第2四半期の連結業績（令和2年3月1日～令和2年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期第2四半期	2,818	△14.8	134	△56.1	136	△54.9	111	△64.8
2年2月期第2四半期	3,308	△1.9	305	△31.5	302	△32.5	317	△21.3

(注) 包括利益 3年2月期第2四半期 124百万円 (△60.7%) 2年2月期第2四半期 316百万円 (△22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期第2四半期	13.26	—
2年2月期第2四半期	38.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年2月期第2四半期	3,896	3,406	87.4	403.57
2年2月期	3,901	3,318	85.1	394.82

(参考) 自己資本 3年2月期第2四半期 3,403百万円 2年2月期 3,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年2月期	—	4.00	—	6.00	10.00
3年2月期	—	4.00	—	—	—
3年2月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

3. 令和3年2月期の連結業績予想（令和2年3月1日～令和3年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△21.3	100	△83.6	100	△83.7	82	△84.5	9.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年2月期2Q	8,490,103株	2年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	3年2月期2Q	49,675株	2年2月期	84,142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年2月期2Q	8,435,109株	2年2月期2Q	8,354,917株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年までの「企業収益の向上」「雇用・所得環境の改善」等による緩やかな回復基調から一転し、年明けの「人手不足による物流費の高止まり」と「消費税増税後の消費環境の悪化が顕在化」に加え、2月以降の「新型コロナウイルス」の世界的な感染拡大により日を迫うごとに国内外の経済に深刻な影響が及んでいるため、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは売上・利益とも前年同期の実績を大きく下回り、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,818百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は134百万円（前年同期比56.1%減）、経常利益は136百万円（前年同期比54.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は111百万円（前年同期比64.8%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、今春に新型コロナウイルス感染拡大の影響より取引先店舗の臨時休業が相次いだ事により、定番キャラクターの受注が大幅に減少した事に加えて、取引先からの強い要請により受注済みの商品の出荷を順延せざるを得ませんでした。以上の結果、売上高1,466百万円（前年同期比35.4%減）、営業利益105百万円（前年同期比60.5%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、今春に新型コロナウイルス感染拡大の影響より大部分の取引先が臨時休業を余儀なくされただけでなく、夏の営業再開後も来店客数が伸びないことが定番キャラクター商品の売上が落ち込む一因となりましたが、人気漫画「鬼滅の刃」商品の販売が非常に好調であった事と、外出自粛による在宅需要の高まりからバスボール（フィギュア入り入浴剤）の販売が好調に推移しました。以上の結果、売上高1,352百万円（前年同期比30.4%増）、営業利益28百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5百万円減少し、3,896百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加額126百万円、商品の増加額97百万円により一部相殺されたものの、電子記録債権の減少額193百万円、現金及び預金の減少額58百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて92百万円減少し、490百万円となりました。これは主に、買掛金の減少額51百万円、流動負債のその他の減少額30百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて87百万円増加し、3,406百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額61百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて58百万円減少し、2,238百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲られた資金は、6百万円（前年同期は96百万円の使用）となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額97百万円、仕入債務の減少額50百万円により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益136百万円、売上債権の減少額66百万円があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13百万円（前年同期は68百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出12百万円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、50百万円（前年同期は33百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額50百万円があったこと等を反映したものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年2月期の連結業績予想につきましては、令和2年4月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297,032	2,238,752
受取手形及び売掛金	747,081	873,745
電子記録債権	278,584	85,102
商品	242,604	339,758
その他	96,037	107,666
貸倒引当金	△215	△201
流動資産合計	3,661,126	3,644,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△13,808	△14,697
建物及び構築物（純額）	888	0
その他	156,585	169,471
減価償却累計額	△124,522	△137,195
その他（純額）	32,062	32,276
有形固定資産合計	32,951	32,276
無形固定資産	52,813	46,493
投資その他の資産		
投資有価証券	44,645	66,112
退職給付に係る資産	42,796	43,765
繰延税金資産	55,253	51,038
その他	18,030	12,198
貸倒引当金	△6,036	△216
投資その他の資産合計	154,688	172,900
固定資産合計	240,453	251,670
資産合計	3,901,579	3,896,495

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,994	239,993
未払法人税等	44,198	35,949
賞与引当金	22,260	19,504
その他	181,210	150,629
流動負債合計	538,662	446,075
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	907	1,415
その他	43,175	42,691
固定負債合計	44,082	44,106
負債合計	582,745	490,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	494,622	494,865
利益剰余金	2,383,450	2,444,825
自己株式	△32,184	△18,903
株主資本合計	3,307,884	3,382,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,684	26,808
繰延ヘッジ損益	1,115	129
為替換算調整勘定	△2,850	△3,409
その他の包括利益累計額合計	10,949	23,528
純資産合計	3,318,834	3,406,313
負債純資産合計	3,901,579	3,896,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年8月31日)
売上高	3,308,795	2,818,994
売上原価	2,224,177	1,976,279
売上総利益	1,084,618	842,714
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	216,980	205,696
賞与引当金繰入額	28,875	19,504
退職給付費用	15,923	6,454
執行役員退職慰労引当金繰入額	412	507
荷造運搬費	176,417	146,139
貸倒引当金繰入額	70	△275
その他	340,235	330,551
販売費及び一般管理費合計	778,915	708,578
営業利益	305,702	134,135
営業外収益		
受取利息	53	1
受取配当金	419	478
為替差益	—	1,134
賃貸収入	527	738
その他	89	196
営業外収益合計	1,090	2,549
営業外費用		
為替差損	3,934	—
その他	4	1
営業外費用合計	3,939	1
経常利益	302,853	136,683
特別損失		
固定資産売却損	127	—
特別損失合計	127	—
税金等調整前四半期純利益	302,725	136,683
法人税、住民税及び事業税	47,938	26,383
法人税等調整額	△62,698	△1,510
法人税等合計	△14,759	24,872
四半期純利益	317,485	111,810
親会社株主に帰属する四半期純利益	317,485	111,810

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年8月31日)
四半期純利益	317,485	111,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,818	14,124
繰延ヘッジ損益	△3,227	△986
為替換算調整勘定	△494	△558
その他の包括利益合計	△903	12,579
四半期包括利益	316,582	124,389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,582	124,389
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	302,725	136,683
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,275	△2,756
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	412	507
貸倒引当金の増減額(△は減少)	70	△5,834
受取利息及び受取配当金	△473	△479
固定資産売却損益(△は益)	127	—
売上債権の増減額(△は増加)	△308,862	66,816
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,219	△97,734
仕入債務の増減額(△は減少)	105,591	△50,982
その他	△96,522	△6,466
小計	△1,875	39,753
利息及び配当金の受取額	473	479
法人税等の支払額	△95,342	△33,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	△96,744	6,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	18	—
有形固定資産の取得による支出	△29,290	△12,364
無形固定資産の取得による支出	△36,696	—
差入保証金の回収による収入	75	—
差入保証金の差入による支出	△1,075	—
その他	△1,120	△1,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,089	△13,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△12
配当金の支払額	△33,213	△50,229
その他	△483	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,697	△50,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,704	△880
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△202,236	△58,279
現金及び現金同等物の期首残高	2,099,365	2,297,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,897,129	2,238,752

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（追加情報）

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響については、前連結会計年度末時点の仮定に重要な変更を行っておらず、経済や生活行動等に広範な影響を与える事象ではありますが、各地域での感染拡大の収束、経済活動再開に伴い当社グループの商品の需要は徐々に回復していくと想定しております。当該仮定に基づき、繰延税金資産（51,038千円）の計上にあたっては、将来の課税所得の見積を行い回収可能性の判断を行っております。なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況やその経済への影響が当初の想定より変化した場合には、損失額が増減する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成31年3月1日 至 令和元年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,271,803	1,036,992	3,308,795	—	3,308,795
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	153	153	(153)	—
計	2,271,803	1,037,145	3,308,948	(153)	3,308,795
セグメント利益	268,084	37,618	305,702	—	305,702

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 令和2年3月1日 至 令和2年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,466,461	1,352,533	2,818,994	—	2,818,994
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	54	54	(54)	—
計	1,466,461	1,352,587	2,819,049	(54)	2,818,994
セグメント利益	105,879	28,256	134,135	—	134,135

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。